

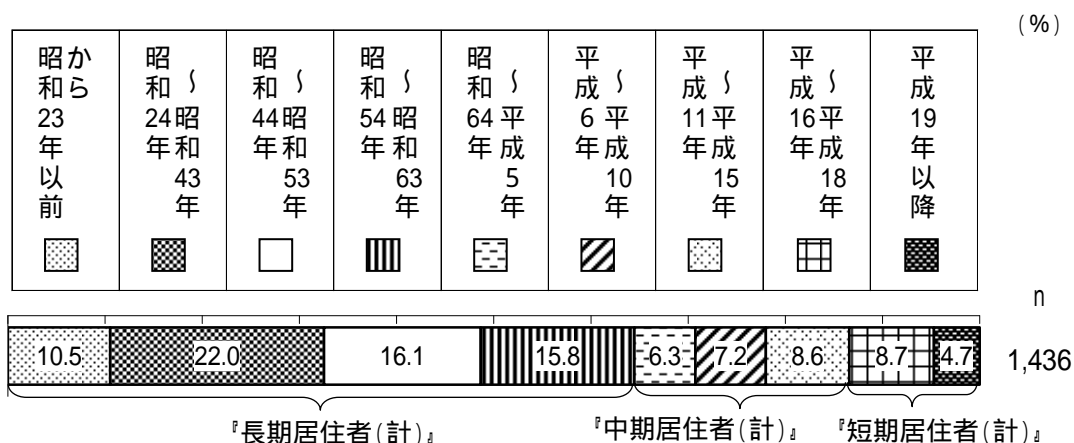
# 調査結果の分析

# 1. 定住性

## (1) 居住開始時期

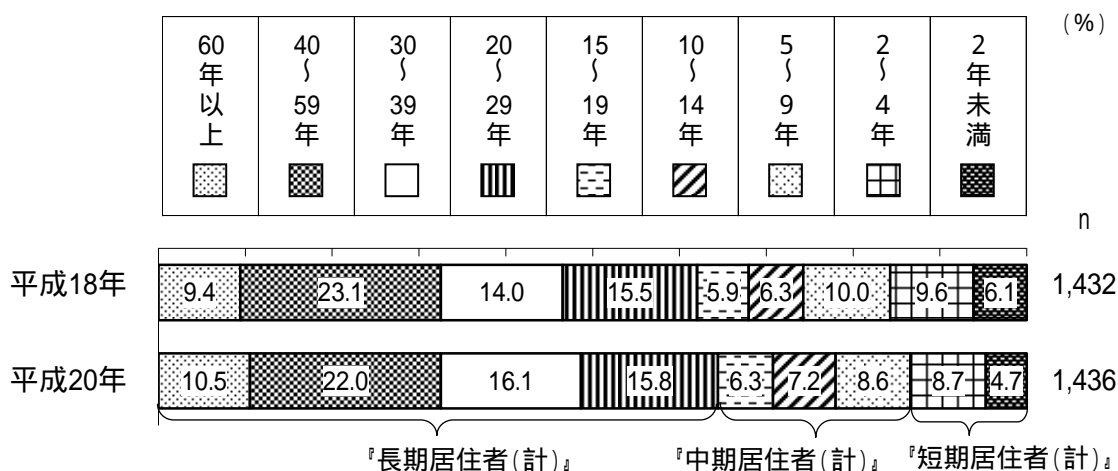
(全員の方向に)

問1. あなたは、いつ頃から大田区に住んでいますか。(1つだけ)



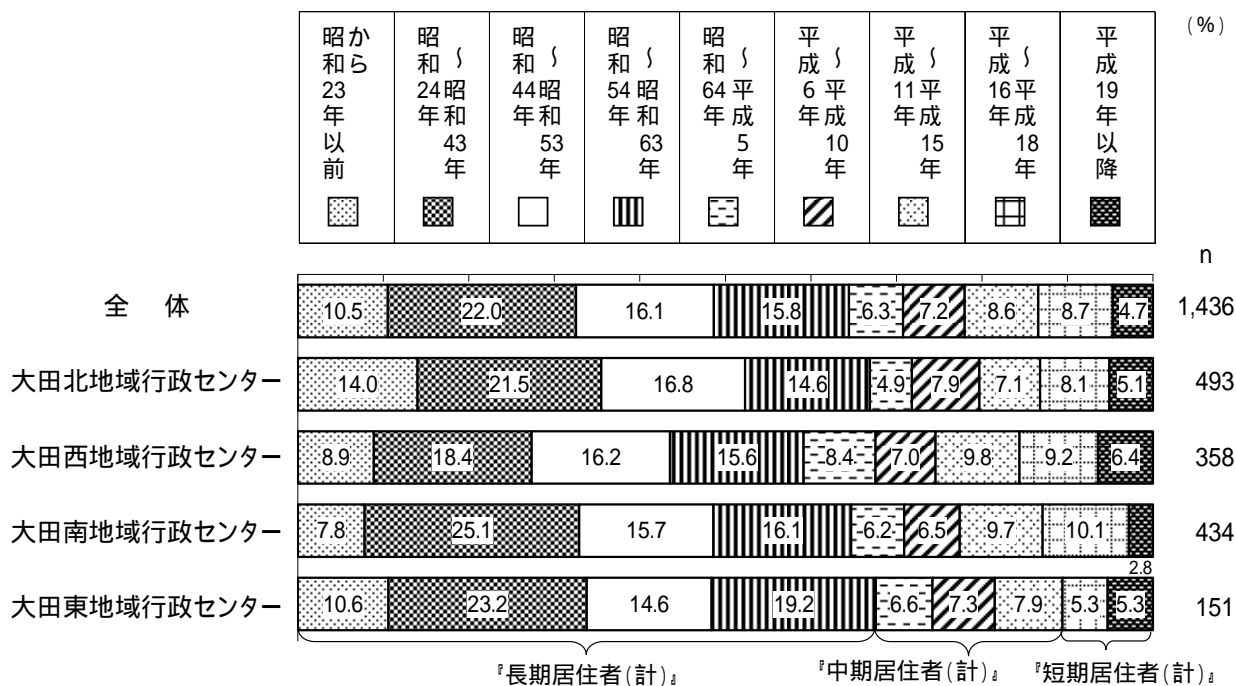
・全体で見ると、「昭和23年以前から」(10.5%)、「昭和24年～昭和43年」(22.0%)、「昭和44年～昭和53年」(16.1%)、「昭和54年～昭和63年」(15.8%)の4つを合わせた、大田区に20年以上居住している『長期居住者(計)』(64.4%)が6割半ばとなっている。「昭和64年～平成5年」(6.3%)、「平成6年～平成10年」(7.2%)、「平成11年～平成15年」(8.6%)の3つを合わせた、居住年数が5年以上20年未満の『中期居住者(計)』(22.1%)は2割を超え、「平成16年～平成18年」(8.7%)と「平成19年以降」(4.7%)を合わせた、居住年数が5年未満の『短期居住者(計)』(13.4%)は1割を超えている。

### [居住開始時期(居住年数) - 過年度比較]



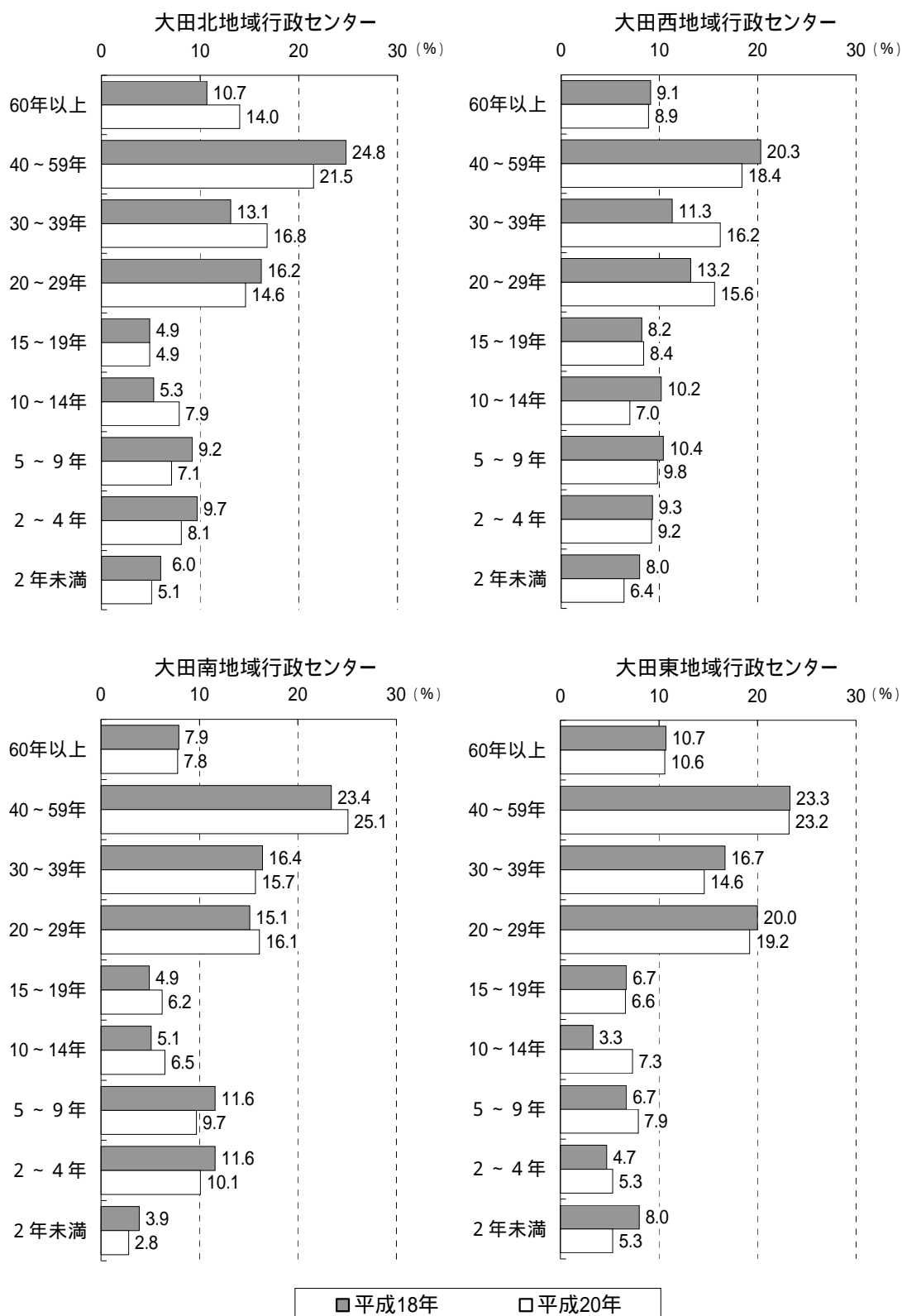
・大田区への居住開始時期を大田区での居住年数に換算して、前回調査の結果と比較すると、居住年数が20年以上の『長期居住者(計)』、居住年数が5年以上20年未満の『中期居住者(計)』、居住年数が5年未満の『短期居住者(計)』の割合は、前回とほとんど変わっていない。

[居住開始時期 - 地域行政センター管内別]



- ・ 地域行政センター管内別にみると、居住年数20年以上の『長期居住者(計)』は、大田東地域行政センター管内で最も高く、逆に大田西地域行政センター管内では最も低くなっている。居住年数が5年～20年未満の『中期居住者(計)』は、大田西地域行政センター管内で2割半ばと最も高く、居住年数が5年未満の『短期居住者(計)』も大田西地域行政センター管内で1割半ばと最も高くなっている。

[ 居住開始時期（居住年数） - 地域行政センター管内別（過年度比較） ]

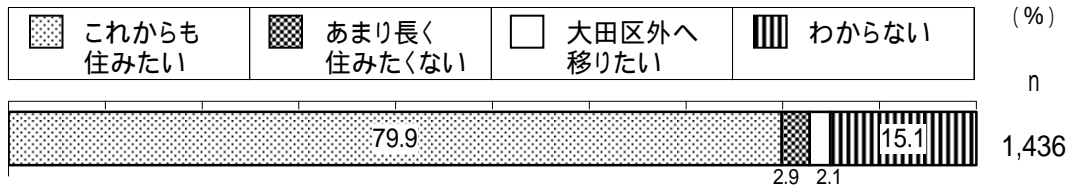


- ・ 大田区への居住開始時期を大田区での居住年数に換算して、地域行政センター管内別に前回調査の結果と比較すると、居住年数が20年以上の『長期居住者（計）』は大田東地域行政センター管内を除いて割合が増加しており、大田西地域行政センター管内では5.2ポイントと最も大きく増加している。居住年数5年以上20年未満の『中期居住者（計）』は大田西地域行政センター管内を除いて割合が増加しており、大田東地域行政センター管内では5.1ポイントと最も大きく増加している。居住年数が5年未満の『短期居住者（計）』はいずれの管内においても割合が減少している。

( 2 ) 定住意向

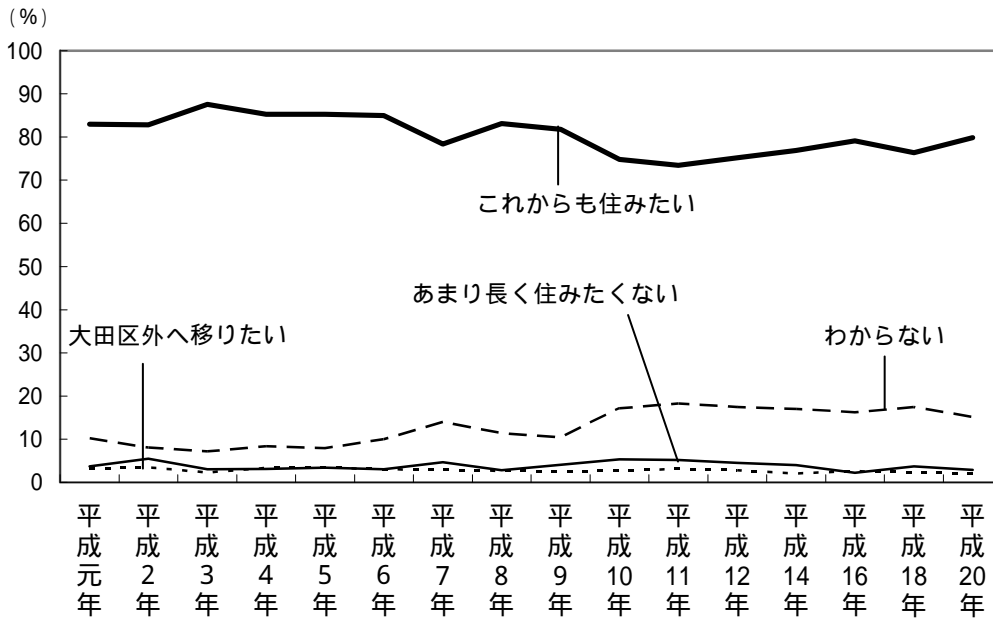
( 全員の方に )

問 2 . これからも大田区に住みたいと思いますか。( 1 つだけ )



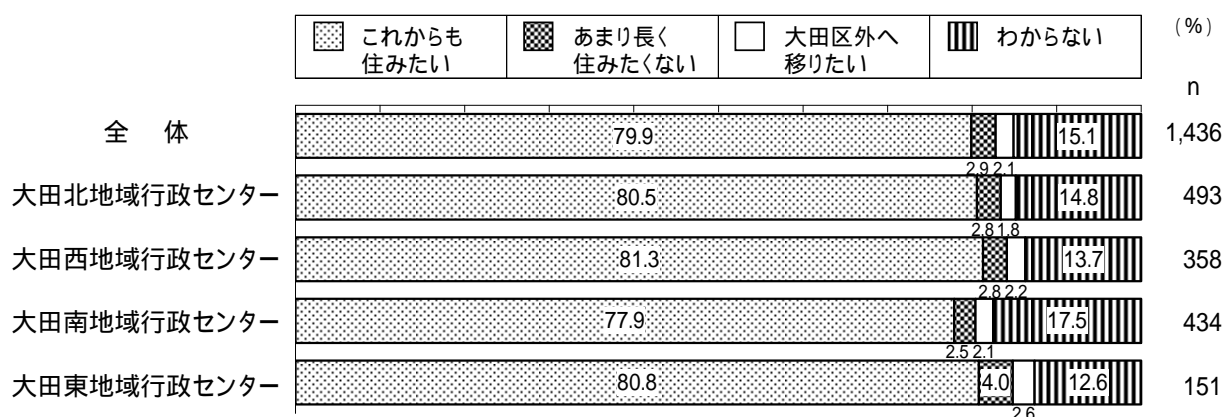
- ・全体で見ると、「これからも住みたい」(79.9%)と答えた定住意向の人は8割で、「あまり長く住みたくない」(2.9%)と「大田区外へ移りたい」(2.1%)を合わせた転出意向のある人は5.0%となっている。

[ 定住意向 - 過年度比較 ]



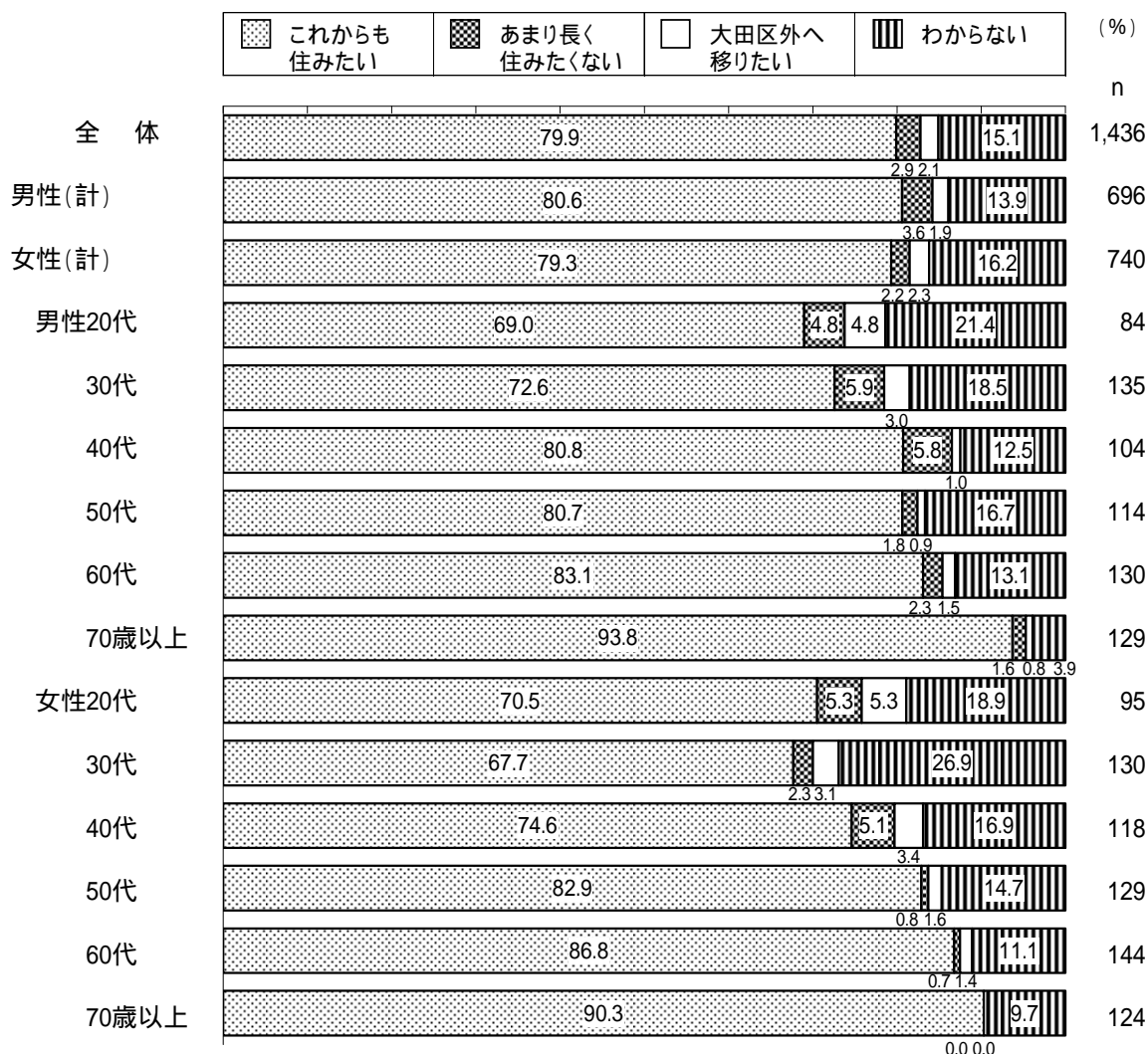
- ・定住意向の推移をみると、「これからも住みたい」は平成元年以降7割を超える高い割合を占めているもののやや減少傾向にあったが、平成11年以降は増加傾向に転じ、今回調査では8割となっている。

[ 定住意向 - 地域行政センター管内別 ]



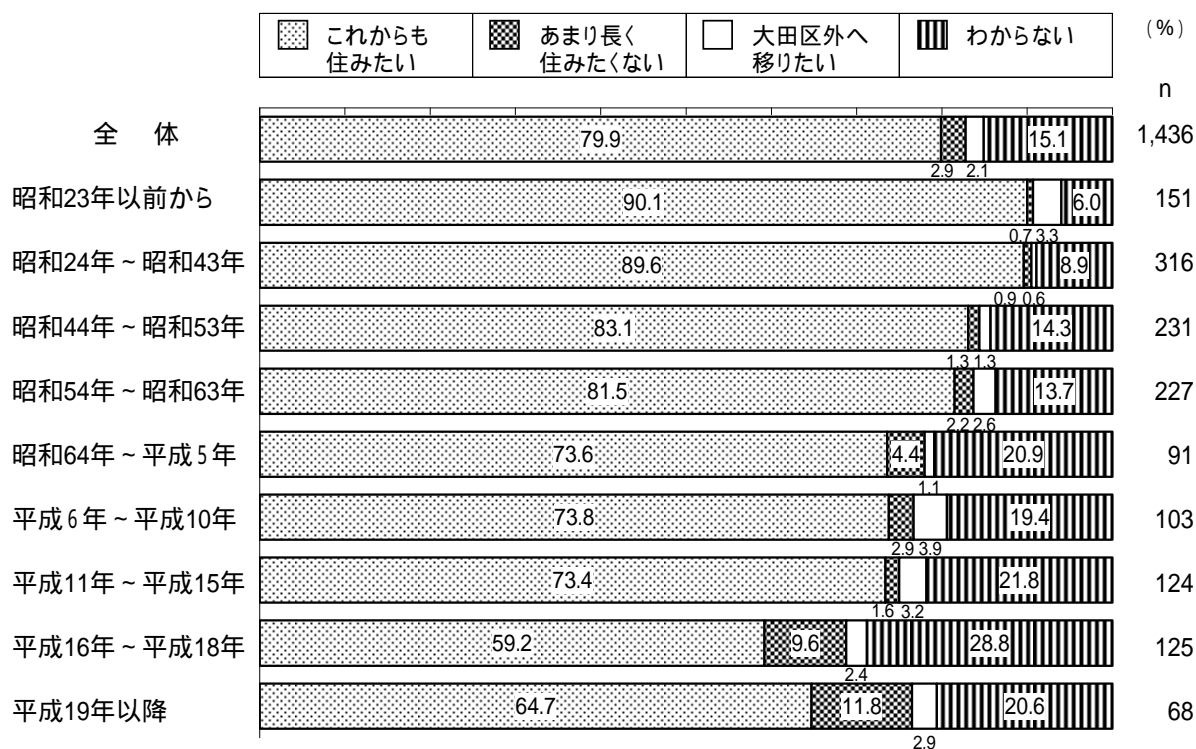
・地域行政センター管内別にみると、いずれの管内においても「これからも住みたい」が8割前後となっており、「あまり長く住みたくない」「大田区外へ移りたい」はわずかである。

[ 定住意向 - 性 / 年代別 ]



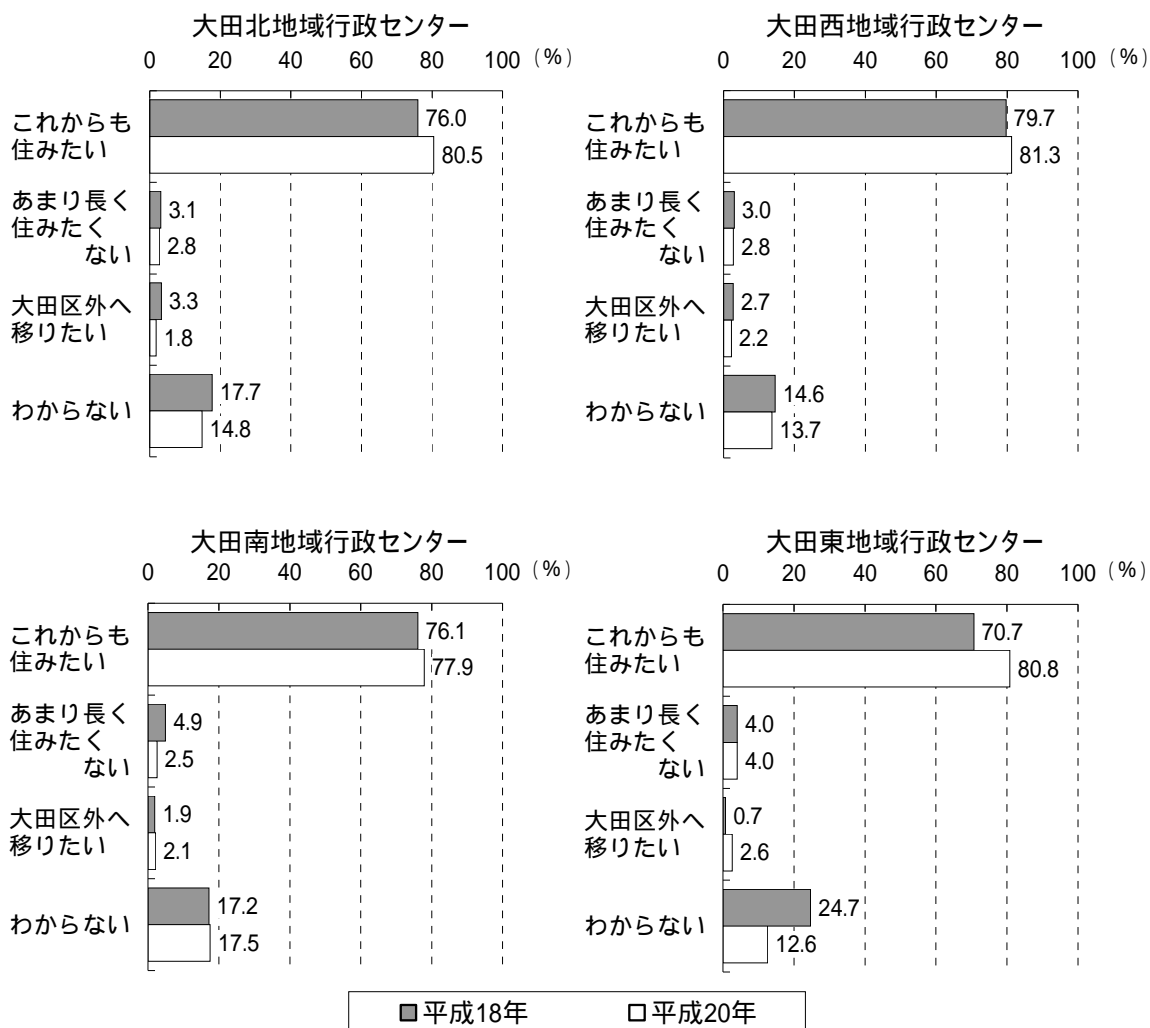
・性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向となっている。  
 ・性 / 年代別にみると、「これからも住みたい」は男女とも高い年代ほど割合が高い傾向にあり、男女とも70歳以上では9割を超えている。

[ 定住意向 - 居住開始時期別 ]



- ・居住開始時期別にみると、「これからも住みたい」では居住年数が長いほど割合が高い傾向にあり、昭和63年以前から居住を開始した人ではいずれも8割を超えている。

[ 定住意向 - 地域行政センター管内別（過年度比較） ]



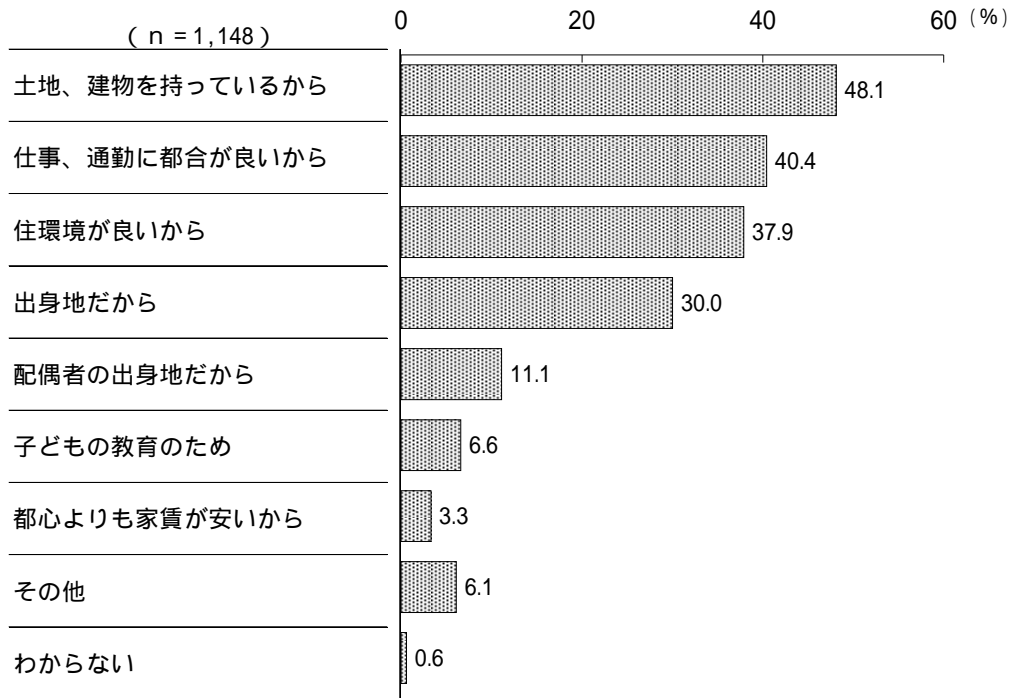
・地域行政センター管内別の定住意向を前回調査の結果と比較すると、「これからも住みたい」は今回調査ではいずれの管内においても前回調査を上回り8割前後となっている。「あまり長く住みたくない」と「大田区外へ移りたい」を合わせた転出意向のある人は、前回と大きな変化はみられない。



(3) 住みたい理由

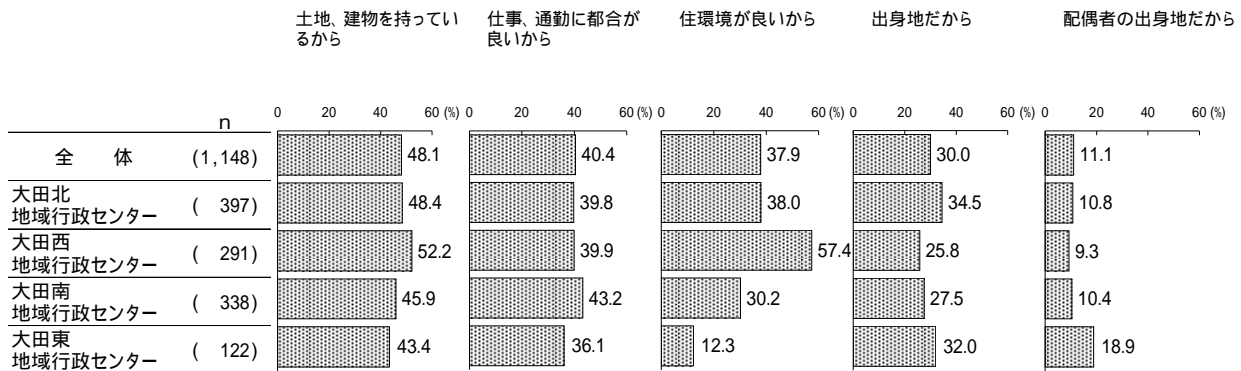
(問2で「1 これからも住みたい」と回答した方に)

問2-1. これからも大田区に住みたい理由は何ですか。(いくつでも)



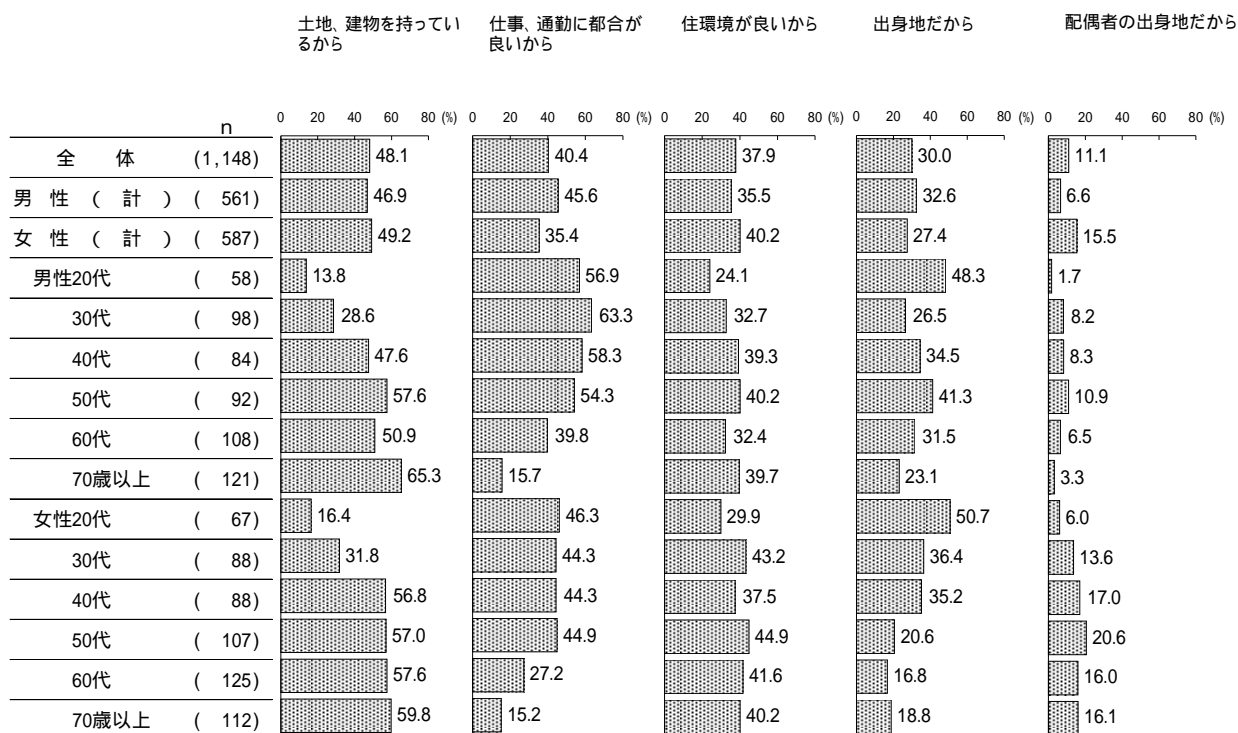
・全体でみると、「土地、建物を持っているから」(48.1%)が5割近くと最も高く、次いで「仕事、通勤に都合が良いから」(40.4%)、「住環境が良いから」(37.9%)、「出身地だから」(30.0%)などの順となっている。

[住みたい理由 - 地域行政センター管内別(上位5項目)]



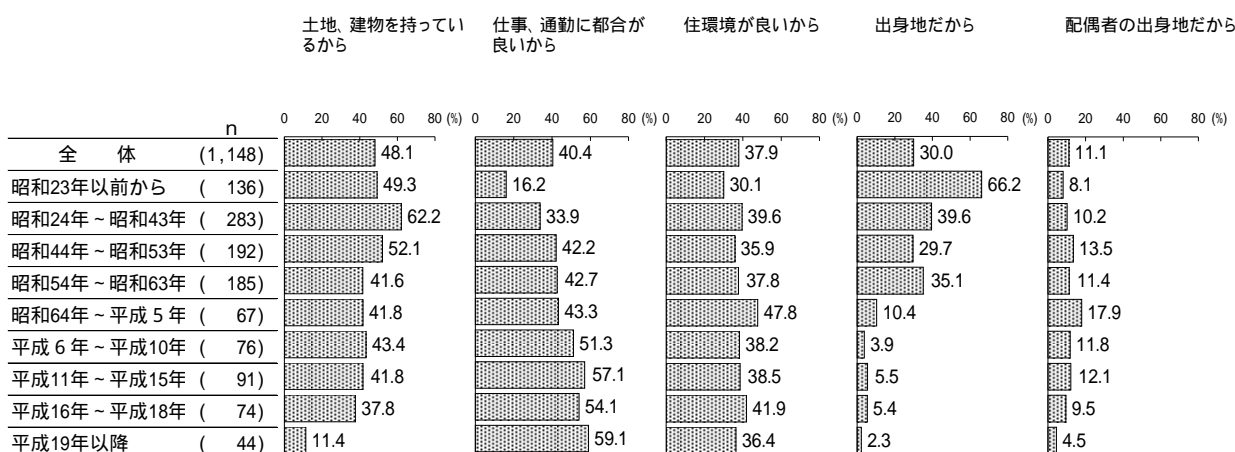
・地域行政センター管内別にみると、大田西地域行政センター管内では「土地、建物を持っているから」が5割を超え、「住環境が良いから」が6割近くと高くなっている。

## [住みたい理由 - 性/年代別 (上位5項目)]



- ・性別にみると、「仕事、通勤に都合が良いから」では男性が女性より10.2ポイント高く、「配偶者の出身地だから」では女性が男性より8.9ポイント高くなっている。
- ・性/年代別にみると、「土地、建物を持っているから」では男女とも高い年代ほど割合が高い傾向にある。一方、「仕事、通勤に都合が良いから」では男女とも低い年代ほど割合が高い傾向にある。また、「出身地だから」では男女とも20代で5割前後と高くなっている。

## [住みたい理由 - 居住開始時期別]



- ・居住開始時期別にみると、「土地、建物を持っているから」では居住年数が長いほど割合が高い傾向にある。一方、「仕事、通勤に都合が良いから」では居住年数が短いほど割合が高い傾向にある。また、「出身地だから」では昭和23年以前からの居住者が6割半ばと高くなっている。